

メルセデス・ベンツ 車両環境データ<EQA>



Mercedes-Benz

モデル		BQA 250			
車両型式		ZAA-243701C			
駆動方式		前輪駆動(PF)			
電動機の型式		EM0021			
電動機の種類		交流誘導電動機			
電動機	最高出力	kW	140		
	最高トルク	N・m	370		
駆動用バッテリー種類		リチウムイオン電池			
総電圧		V	367		
総電力量		kWh	66.5		
排出ガス	適合規制・認定レベル		電気自動車の為規制対象外		
	規制値	一酸化炭素(CO)	g/km	排出せず	
		非メタン炭化水素(NMHC)	g/km	排出せず	
		窒素酸化物(NOx)	g/km	排出せず	
騒音	適合規制レベル		平成28年規制に適合		
	規制値	加速走行騒音	db	-	
		定常走行騒音	db	-	
		近接排気騒音	db	-	
充電装置	充電機能(急速・普通)		(急速)DC(CHAdeMO)最大100kW、300A (普通)AC 200V Type 1(6.4kW、32A)		
	標準充電時間		(急速)100kWタイプ:約0.6時間(66.5kWh/100kW) 50kWタイプ:約1.3時間(66.5kWh/50kW) (普通)6kWタイプ:約11時間(66.5kWh/6kW)		
電力消費率 ^{*1}	交流電力量消費率(WLTCモード) ^{*2}	Wh/km	180	184	181
	一充電走行距離(WLTCモード) ^{*2}	km	423	410	422
	備考		類別区分番号: 0222,0224,0232,0234	類別区分番号: 0112,0114,0122,0124	類別区分番号: 0012,0014,0022,0024
カーエアコン冷媒	種類:R134a	使用量:710g			
リサイクル	リサイクル設計の有無	有			

*1 実際の走行時には、気象、道路、車両、運転、整備等の状況が異なりますので、それに応じて走行距離が異なります。

*2 WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けけない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。交流電力量消費率、一充電走行距離は、定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて交流電力量消費率、一充電走行距離は異なります。

■ 本車両環境データの内容は、2022年4月6日現在の確定値となります。

用語解説

■リチウムイオン電池:

コバルト酸リチウムなどの正極と炭素系の負極の間をリチウムイオンが往来して電気を発生させる蓄電池のこと。ニッケル水素電池などに比べて同じ体積や重量でより高いエネルギーを蓄積できる。メモリ効果の心配がない。

■一酸化炭素(CO):

無色、無臭、水に難溶の気体で、重油、ガソリンなど炭素を含む化合物が不完全燃焼する時に発生する。工場・事業場や自動車などから大気中に排出される。環境基準並びに「大気汚染防止法」及び「都道府県条例」による排出基準、自動車排出ガスの許容限度がそれぞれ定められている。

■炭化水素(HC)、非メタン炭化水素(NMHC):

炭素と水素からできている化合物の総称。炭化水素は、作業者の神経系や肝臓障害をひきおこすため「労働安全衛生法」で管理体制等が定められている。大気中で拡散した炭化水素は、強い紫外線を受けて光化学オキシダントを生成し、人体や植物に害を与える。尚、NMHCは、有害性がなく光化学的に不活性のメタンを除外したものであり、有害性であり浮遊粒子状物質等の二次生成成分を的確に低減するために平成17年排出ガス規制から規制されている。

■窒素酸化物(NOx):

燃料などの燃焼過程において、空気中の窒素と酸素が高温下で反応したり、燃料中の窒素が酸化されて発生する。工場、事業場等から排出されるが、自動車からも排出される。刺激性があり、汚染が激しい地域で生活していると呼吸器障害を起こすといわれている。また、酸性雨の原因物質でもある。